

株式会社

緑栄



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0007586

## 2024年度 環境経営レポート

(対象期間 2024年9月1日～ 2025年8月31日)



発行日： 2025年10月16日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

## □社長ごあいさつ

私は終戦直後の生まれです。子供の頃と現代とを比較して考えてみました。大人になるにつれ、日本は高度成長期を経て経済大国になり豊かになったと思います。また各国の発展にもよる地球環境を考えなくてはならない時代が来たように思われます。まずオゾン層の破壊があげられるでしょう。また使い捨て時代があったため、ゴミ処理の関係もその一部と思います。弊社は零細企業ではありますが個人共々永久に地球が緑でありますように限りある資源を有効に活用し、地域社会と一緒に地球環境保全に積極的に取り組みます。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、造園緑化土木等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって「暮らしと緑の調和を考える」をスローガンとして自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量（電力・自動車燃料）を削減する。
3. 建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量・再利用・再生利用）の推進。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 製品サービスでの環境配慮に取り組みます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
7. 環境経営の継続的改善をはかります。
8. この環境方針は、全従業員及び協力会社員に周知します。

### 取組の重点分野

制定日：2013年9月1日  
改定日：2022年10月11日

専務取締役社長 **足立清孝**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 緑 栄

代表取締役社長 足立 太郎

環境マネジメントシステム代表者 足立 清孝

(2) 所在地

本社 兵庫県朝来市和田山町加都87-2

資材倉庫 兵庫県朝来市和田山町加都

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 足立 清孝 TEL : 079-674-0077

担当者 FAX : 079-674-2612

(4) 事業内容

建設業 (土木・造園・解体)

(5) 事業の規模

売上高 15,700 万円 2024 年度

	本社	資材倉庫
従業員 名	9 名	無人
延べ床面積 m <sup>2</sup>	252 m <sup>2</sup>	950 m <sup>2</sup>

(6) 事業年度

9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

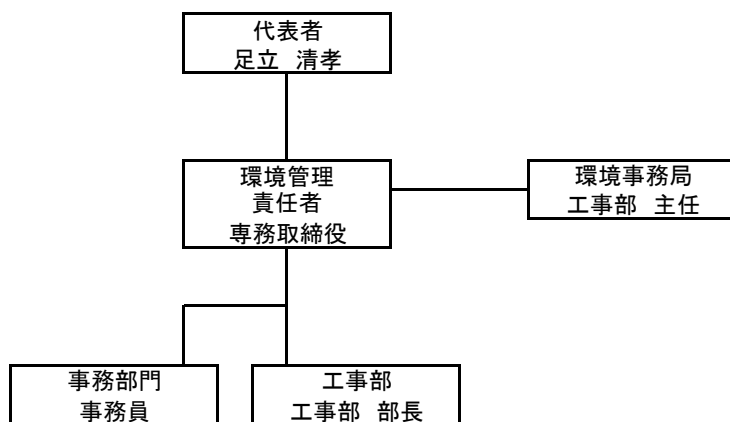
□認証・登録範囲

対象事業所 : 本社 資材倉庫

事業活動 : 建設業 (土木・造園・解体)

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年10月16日



役割・責任・権限	
代表者(社長) 足立 太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び朝礼での全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境活動計画書を承認</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者 専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を作成</li> <li>環境経営目標・環境活動計画書を作成</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの作成</li> <li>従業員に対する教育訓練の実施</li> </ul>
環境事務局 工事部 主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの作成</li> <li>環境経営目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長 工事部 部長 (工事部門) 事務員 (事務部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門の特定された緊急事態へのテストの実施</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の環境経営目的・目標の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加意識の向上</li> </ul>

### □主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	76,664	68,185	62,377
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	0.096	0.094	0.088
産業廃棄物排出量	t	987	973	990
水使用量	m <sup>3</sup>	51	39	29

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の2021年度調整後の排出係数

※負荷の実績は工事現場を含む

### □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年 (目標)	2026年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	8,683	8,423	6,414	○	8,336	8,249
	基準年度比	2021年	97%	74%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減 (ガソリン+軽油)	kg-CO <sub>2</sub>	56,323	54,634	55,962	×	54,070	53,507
	基準年度比	2021年	97%	99%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	65,007	63,056	62,377		62,406	61,756
水道水の削減	m <sup>3</sup>	51	49	29	○	49	48
	基準年度比	2021年	97%	57%		96%	95%
一般廃棄物の削減	kg	98	94	88	○	94	93
	基準年度比	2021年	96%	90%		96%	95%
建設副産物のリサイクル率の向上	%	95.0%	95.3%	96.0%	○	95.4%	95.5%
環境に配慮した工事の推進	8ページに記載	—	1件	1件	○	1件	1件

※ 化学物質使用量の削減は、化学物質を使用していないため目標に設定していません

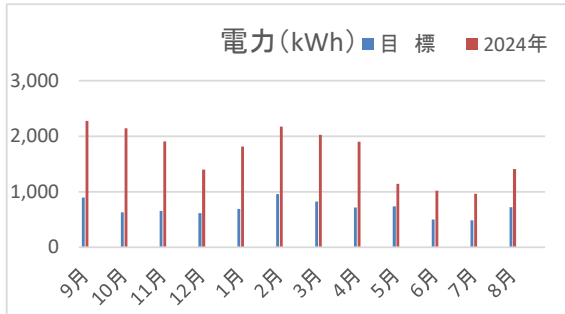
※ リサイクル率は リサイクルもの/総排出量 × 100

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

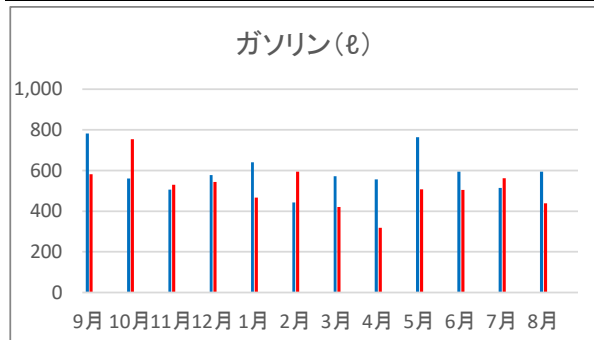
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成出来なかった月もあるが概ね達成できた。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	

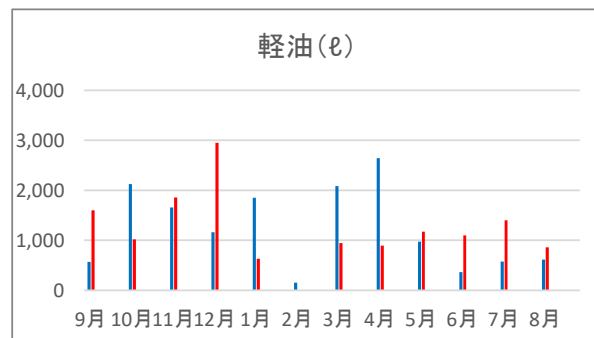


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	896	628	657	613	693	957	822	715	736	500	486	719
2024年	2,276	2,142	1,907	1,399	1,813	2,172	2,025	1,904	1,140	1,021	962	1,410

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	達成出来なかった。 大型重機・大型ダンプトラック使用する仕事が多かった。 エコドライブ・相乗り等により、節約する努力を続ける。
・アイドリングストップ	○	
・なるべく乗り合わせて移動する	○	
・過積載防止対策	○	

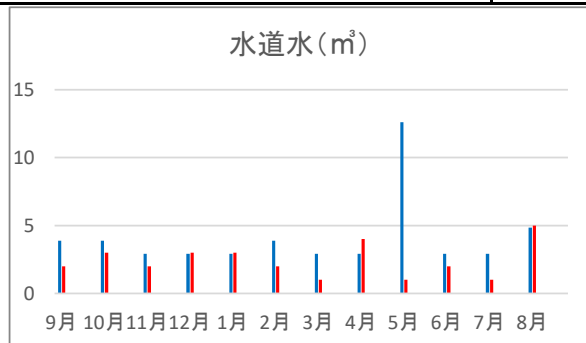


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	782	561	506	578	641	442	572	557	763	595	515	594
2024年	582	754	530	544	467	595	420	319	507	504	562	439



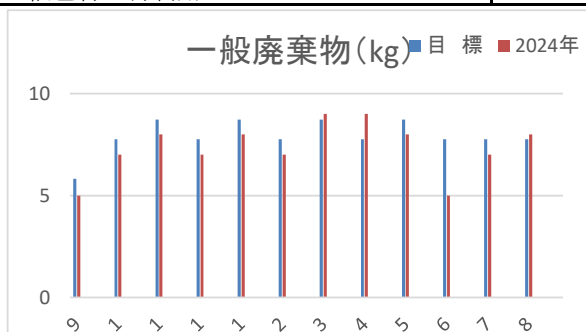
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	568	2,122	1,661	1,163	1,854	155	2,084	2,642	977	366	576	618
2024年	1,602	1,020	1,857	2,950	632	0	943	892	1,171	1,097	1,402	862

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成できた。
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・ 節水弁取り付け	○	
・ 自動水栓取り付け	○	



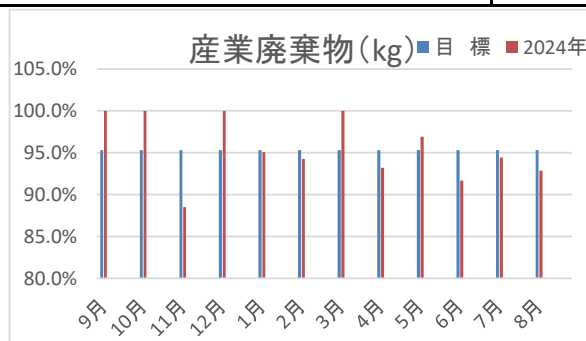
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	4	4	3	3	3	4	3	3	13	3	3	5
2024年	2	3	2	3	3	2	1	4	1	2	1	5

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間通じては、達成できた。 月により、ばらつきがあり、達成できなかった月や、出来た月がある。 裏紙の使用や、無駄なコピーをしない等、節約を心がける。
・ 分別の徹底	○	
・ シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・ 帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ 梱包材の再利用	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	6	8	9	8	9	8	9	8	9	8	8	8
2024年	5	7	8	7	8	7	9	9	8	5	7	8

建設副産物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成できた。 次年度は、より一層リサイクルを心がける。
・ 分別コンテナ（ボックス）の設置	○	
・ 工事現場での分別の徹底	○	
・ リサイクル可能な処理業者への委託	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
目標	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%	95.3%
2024年	100.0%	100.0%	88.5%	100.0%	95.1%	94.3%	100.0%	93.2%	96.9%	91.7%	94.4%	92.9%

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
・工事の効率化	○	・産業廃棄物の再資源化(リサイクル火)の推進及び、工事を手直し
・希少生物への配慮	○	などなく効率的に実施でき、納期も順守できた
・樹木等への配慮	○	・次年度以降も工事の効率化の推進、廃棄物の再資源化を推進
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	するとともに、希少生物の生息が確認できれば、これを保護し

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

遵守評価日 2025年9月20日

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	順守評価
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物	○
騒音規制法	空気圧縮機、送風機	○
振動規制法	空気圧縮機	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

関係各局からの違反の指摘等はありませんでした。

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2025年6月16日（月曜日）	■実施場所 事務所
■参加者： 足立太郎 足立清孝 田中義彦 神野弘之 足立久則 八木尾寿々子	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 決められた手順通り行動でき、消火器の期限切れもなく、非常口も妨害する物も無かった。	手順書の変更の必要? <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<b>■実施状況の様子</b> ・消火器の期限切れが無いかの確認。 ・決められた手順通りに行動ができ、また手順が適切であるかの確認。 ・非常口を妨害する物が置いてないかの確認。	

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 油類流出事故の発生	
■実施日： 2025年7月7日（月曜日）	■実施場所 事務所
■参加者： 足立太郎 足立清孝 田中義彦 神野弘之 足立久則 八木尾寿々子	■実施内容： ・通報訓練、吸着マット等の使用方法
■評価： 吸着マット・砂袋等の使用方法を理解し流出事故あった場合に、決められた手順通り行動出来る用になった。	手順書の変更の必要? <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<b>■実施状況の様子</b> ・油の抜き取りや給油作業をするときは、油受け容器を使用する等の指導。 ・決められた手順通りに行動ができ、また手順が適切であるかの確認。 ・油流出事故が発生したときの対処方法。	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年10月16日

エコアクション21に取り組み数年が経過し、社員全員が環境活動への取り組みを意識するようになりました。  
今年度は「電力による二酸化炭素の削減」について、仕事量が増えたことが原因であるが、一人一人が効率の良い方法を心がけ目標値を達成できるように頑張っていこうと思います。  
無理なく 自社にあった形で今後も取り組んでいこうと思います。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

1・環境経営目標の達成状況は、目標6項目うち5項目が達成できた。

2・環境関連法規等の遵守状況は、すべて遵守であった。

3・外部からの苦情・要望などは、なかった。

株式会社 緑 栄  
専務取締役社長 足立清孝